

総合型クラブと部活動の連携

「新しいカタチの部活動」の取組



NPO法人希楽々
渡邊 優子

新潟県最北の市…村上市



- ：面積県内最大
- ：人口 61,750人
- ：岩船産コシヒカリ・村上牛
- ：瀬波温泉
- ：3つの“さけ”
「鮭・酒・情け」

希楽々

希望を持って楽しく生きよう…希楽々



- ：平成15年設立
- ：職員12名（パート18名）
- ：日常生活密着型
- ：地域課題解決プログラム
- ：子どもの多体験
- ：高齢者の社会参加
- ：体育施設と学童保育所管理

希楽々

地域課題解決との接点

- ：人口減少、少子高齢化
- ：子どもの体力低下
- ：コミュニティの希薄化
- ：介護予防、生活支援
- ：子育て環境の充実



◎地域課題にスポーツ等の特技を付加しながら
市民が幸福な生活を送ることができる環境づくり

希冀^{★★}

部活動の環境

- ：部活動の位置付けが不安定
- ：生徒数減少に伴う設置できる部活動の減少
- ：既存部活動の存続危機そして廃部
- ：希望の種目が選択できない
- ：スポーツを選択する生徒数の減少
- ：合同チームによる中体連大会への参加制限
- ：勝利主義
- ：専門の先生の有無で振り回される生徒たち

希冀^{★★}

希望の種目ができない現状

	村上第一中学校	村上東中学校	岩船中学校	荒川中学校	平林中学校	神納中学校	朝日中学校	山北中学校
陸上	○			○			○	
野球	○	○	○	○	○	○	○	○
サッカー	○	○		○			○	
バスケ(男)	○	○	○	○	○	○	○	○
バスケ(女)	○	○			○ J.Q.B.C		○	○
バレー(男)	○							
バレー(女)	○	○	○	○	○	○	○	○
卓球	○	○		○	○	○	○	
バドミントン	○			○			○	
ソフトテニス(男)	○	○		○				
ソフトテニス(女)	○	○	○	○			○	
柔道	○	○						○
剣道	○			○				○

希楽々

H24.新しいカタチの部活動誕生経緯

：既存部活動にはない

バスケットボールをしたい女の子たち

：保護者は部活動の新設を懇願

：学校側は新設不可

：学校、保護者、希楽々で話し合い

3者で合意形成

：次年度より部活動に準ずる活動として

「新しいカタチの部活動」として活動開始

希楽々

H25.新しいカタチの部活動スタート



- :部活動にない種目
女子バスケットボール「J・G・B・C」
- :クラブ管理下
- :放課後バスで迎え
- :中学校2校12名
- :週2日
- :クラブ登録指導者
- :参加費1回400円
- :中体連大会参加



希案^{☆☆}

H26.27 新しいカタチの部活動の充実



- :中学校3校17名
- :週4回(火・水・金・土曜日)
- :指導者はクラブ職員及び外部指導者
- :参加費1ヶ月3,000円
- :バスケットボール活動以外に
クラブイベント等のボランティア参加



希案^{☆☆}

多様な効果

- ：希望種目の実施
- ：他中学校間の交流
- ：中体連大会には各学校名で参加



希楽々

クラブ管理下ならではの効果

- ：クラブ事業へのボランティア参加
- ：多世代交流による社会性やマナーの向上
- ：クラブ集会で活動紹介
- ：夏休み自主学习



希楽々

課題

- ：校内活動と校外活動の壁
- ：新しい種目に取り組むことによる既存部活への危機感
- ：広く周知できない
- ：クラブチームとしての中体連大会への参加不可
- ：村上市として「部活動の在り方」が不明確
- ：「先生下さい」という不安定さ
- ：受益者負担
- ：部活動ではないから選択しない子どもたち

希案々

H28.協働展開



- ：新潟県広域スポーツセンター協働展開事業受託
- ：構想→エリア拡大と種目の多様化
- ：サッカー「J・F・C」開始…中学校3校26名 週3回
クラブ職員及び外部指導者

希案々

ある日のバスの中



- :女子バスケット×サッカー
- :男女
- :地区を超えて
- :3つの中学校
- :バスの中は交流空間

希楽々^{☆☆}

H29.小休止

- :女子バスケットボール → 選択希望者1人で休部
選ばない理由 「部活じゃないから」
- :サッカー → 勝利主義のクラブチームとの絡みで休部
- :柔道・ソフトテニス・・・実施体制は完備
部活ではない種目を選択する意欲微弱で選択者ゼロ
- :平成30年度再開に向けて準備中

希楽々^{☆☆}

これから・・・

- ：村上市「第2次教育基本計画策定委員会」への関わり
→部活動検討委員会設置を明文化
 - ：新潟県「運動部活動の在り方検討委員会」への関わり
→新しいカタチの部活動を提案
- ➡ 教員の多忙化視点のみならず
生徒の欲求やニーズも考慮し、教育の一環としての
「これからの部活動の新しいカタチ」を模索していきたい

希冀々

大切なのは・・・

- ：物質的な補完ではなく
地域全体で取り組むしくみづくり
- ：校内活動と校外活動の壁を超えた
連携体制づくり

希冀々

こんな中学生空間もある



中学生バレーボール空間

: 中学校8校20名 男女 異学年 市内外
: 男子バレーボール、既存部活動への不満

希楽々^{☆☆}



ご清聴 ありがとうございます

希楽々^{☆☆}